

ビデオカメラ役立てて

牧野工務店と大垣西濃信金

南中に私募債で寄贈

建設業の牧野工務店(大垣市南高橋町)と大垣西濃信用金庫は27日、同市南頰町の南中学校にビデオカメラ1台(8万円相当)を寄贈した。



尾形佳隆校長(中)や中島双葉さんに目録を渡す牧野英紀社長(右)＝大垣市南頰町、南中学校

発行手数料の一部を企業が指定した学校などへの寄付に充てる同金庫の地域貢献型私募債「絆」を活用。牧野英紀社長が同校の卒業生である縁で寄付した。

牧野社長と同金庫の長屋秀孝本店営業部営業部長らが来校。牧野社長は「先代の父も私も息子も、南中の卒業生。うまく役立てて」とあいさつし、尾形佳隆校長や生徒会長の中島双葉さん(15)に目録を渡した。

中島さんは「中学校でしか体験できない、いろんな思い出を全校に共有して残

したい」と笑顔。尾形校長も「尽力に感謝している。オンラインの集会や行事などで活用したい」と感謝した。(宮本覚)